

## お知らせ

じょうずな使いかたについて

- 冷やし過ぎや暖め過ぎにご注意ください。適度な室内温度設定は節電につながります。

＜おすすめ設定温度＞  
冷房時…26℃～28℃  
暖房時…20℃～22℃

- 窓にはブラインドやカーテンを使用すると、直射日光やすきま風を防ぎ、冷房・暖房効果を高めます。
- エアフィルターの目づまりは、冷房・暖房効果を低下させ、電気のむだ使いとなります。  
1ヵ月に一度のめやすでお手入れしてください。

知っておいてください

- エアコンは運転しないときでも、電力を消費します。  
▶27ページ
- シーズンオフなど、長期間使用しないときはブレーカーを切ってください。
- シーズン中はブレーカーを入れておいてください。暖房運転時、温風が出るまでの時間が短縮されます。

## 運転条件

- 下表の条件以外で運転を続けると、安全装置が働き、運転が停止する場合があります。  
また、冷房・ドライ運転の場合は室内ユニットに露が付き、滴下する場合があります。

冷房	
屋外温度	21℃～43℃
室内温度	21℃～32℃
室内しつど	80%以下
暖房	
屋外温度	－10℃～24℃
室内温度	27℃以下
ドライ	
屋外温度	18℃～43℃
室内温度	18℃～32℃
室内しつど	80%以下

## 室内ユニット

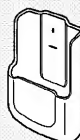
■光触媒空清フィルターを取り付ける ▶18ページ

■ブレーカーを入れる

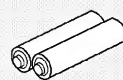
### 付属品



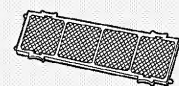
リモコン



リモコンホルダー



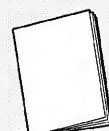
単4乾電池  
(2本)



光触媒空清フィルター  
(2枚)



リモコンホルダー  
取付ネジ(黒色・2本)



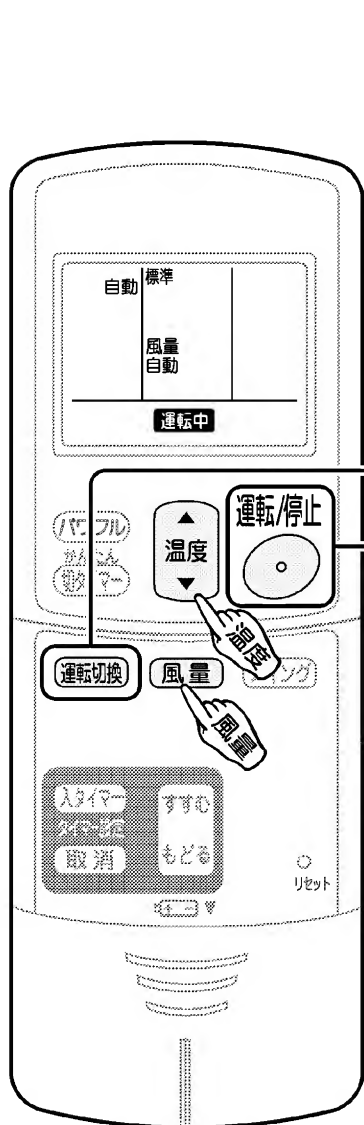
取扱説明書



保証書

# 運転のしかた

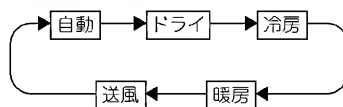
自分に合ったお好みの運転を選べます。  
一度合わせると、次回からは同じ運転ができます。



1

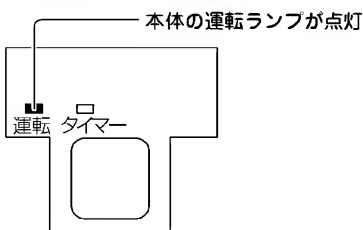
**運転切換** を押し  
運転モードを選ぶ。

●押すごとに下記のように運転モードが切り換わります。



2

**運転/停止**  
を押す。



## 自動運転について

- 自動運転は、運転開始時の室内温度、屋外温度に応じて、自動で運転モード（ドライ、冷房、暖房のいずれか）、設定温度を選びます。
- 設定温度と運転モードはその後定期的に見直します。お好みに合わないときは、温度ボタンで微調節していただくか、運転モードを変えてください。

## 暖房運転について

- 屋外温度が下がるにつれ暖房能力が低下します。暖まり不足の場合には他の暖房器具の併用をおすすめします。
- 暖房運転中、室外ユニットに霜が付くと能力が低下するため、霜を取り除く運転（除霜運転）をします。
- 除霜運転中、室内ユニットからは温風が出ません。

## お知らせ

- 運転内容は次回も記憶されています。リモコンの電池を交換すると、記憶内容は消えます。

## ■停止したいとき

運転/停止



をもう一度押す。

- 本体の運転ランプが消灯します。

## ニオイないスについて

- 「風量自動」に設定してから、ドライ・冷房運転を開始すると、室内ユニットの中にこもったイヤなニオイを抑えてから風を送り出す機能が働きます。

## ドライ運転について



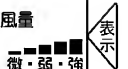
- リモコン設定と除湿効果、室内温度は次のような関係があります。(標準設定で開始時の室内温度を約2℃下げます。) お好みに合わせて調節してください。

リモコン設定	-2℃・標準・+2℃
除湿効果	高 い ← → 低 い
室内温度	下がる ← → ほぼ同じ


- 室内温度より屋外温度が低い場合、除湿効果が低くなります。

## 温度・風量を変えたいとき

「ドライ」とは、弱めの冷房運転と停止を繰り返して湿気を取る機能です。

運転モード 変更 したい設定	自 動	ド ラ イ	冷 房	暖 房	送 風
	±5℃の範囲で 変更できます。 「標準 - 5℃」 ↓ 標準 ↓ 「標準 + 5℃」	±2℃の範囲で 変更できます。 「標準 - 2℃」 ↓ 標準 ↓ 「標準 + 2℃」	温度を変えることが できます。 下記温度を参考にして ください。 ＜おすすめ温度＞ 冷房時…26℃～28℃ 暖房時…20℃～22℃		温度は変え られません。
	「自動」または 「しずか」	「自動」になり ます。	「自動」または「しずか」のほか「微」 から「強」まで5段階で選べます。 		

- 「しずか」、「微」など少ない風量で冷房・暖房運転すると、十分冷えない・暖まらないことがあります。

説明中の  は、リモコンの表示部を示しています。

## 風向を変えたいとき ▶12ページ



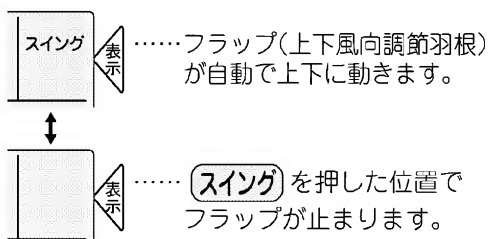
## 風向調節

じょうずな風向調節でより快適な風を。

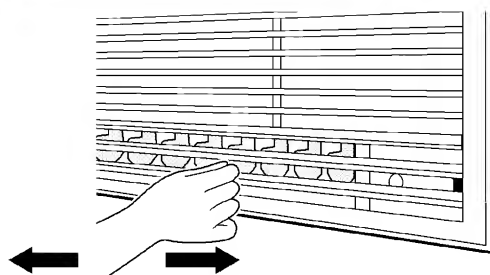
## 上下の風向を変える

運転中に **スイング** を押す。

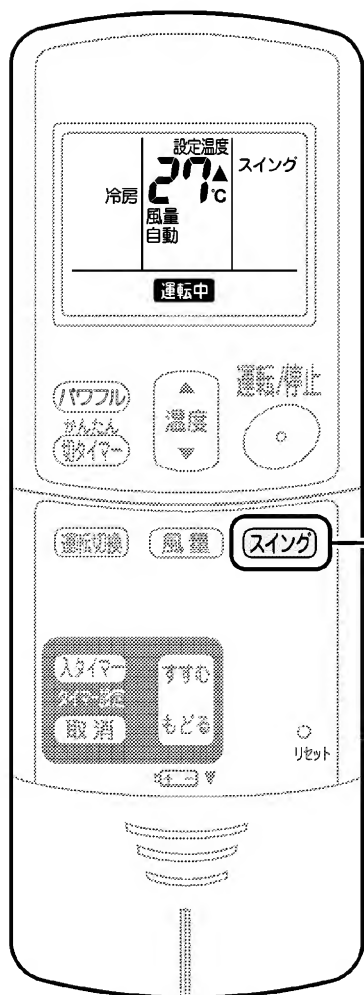
●押すごとにリモコンの表示が切り換わります。




## 左右の風向を変える



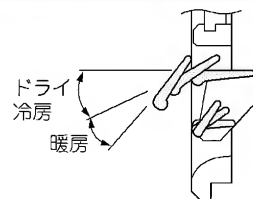
ルーバー(左右風向調節羽根)のツマミを持って、左右に動かします。  
(左右1ヵ所ずつあります。)



説明中の  は、リモコンの表示部を示しています。

## 上下の風向調節について

- フラップが自動で上下に動いているとき、その動く範囲は運転モードに応じて異なります。(下図)



- フラップが自動で上下に動いているとき運転音が変化することがあります。

**お知らせ**

- 上下の風向を固定する場合、冷房・暖房効果を高めるために、暖房運転時はフラップを下向きに、冷房・ドライ運転時は水平に近い状態でご使用ください。
- 冷房・ドライ運転時にフラップを下向きで運転されますと、露が付くのを防止するため、自動でフラップの角度が変わります。

お願い

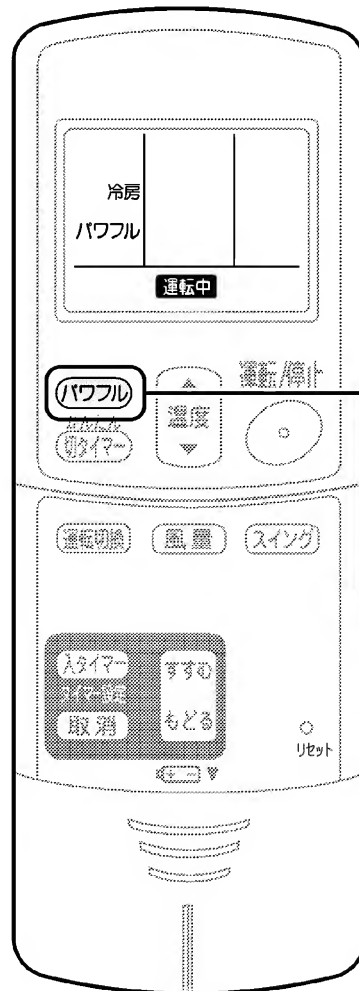
- 上下の風向調節は必ずリモコンで行ってください。無理に手で操作すると、正しく動かなくなることがあります。

# パワフル運転

冷房・暖房時の能力をパワーアップして、すばやく快適な室内温度にします。  
冬の寒さの厳しい日や、夏のお風呂上がりなどにおすすめします。

## パワフル運転について

- 風量を上げて、パワーアップした冷房・暖房運転を行います。
- 暖房運転時、風量がアップするため、通常より吹出し温度が、低くなる場合があります。  
お好みに合わないときは、風向を調節していただくか、パワフル運転を取り消してください。



運転中に **パワフル** を押す。

- 約20分後自動的に通常運転にもどります。

運転のしかた

## ■風向を変えたいとき

▶12ページ

- 温度・風量を変えられません。

## ■取り消したいとき

**パワフル** をもう一度押す。

- もとの運転モードにもどります。

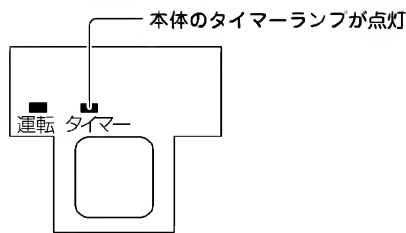
# タイマー運転

\*タイマーは1回だけの運転ですので  
その都度設定してください。

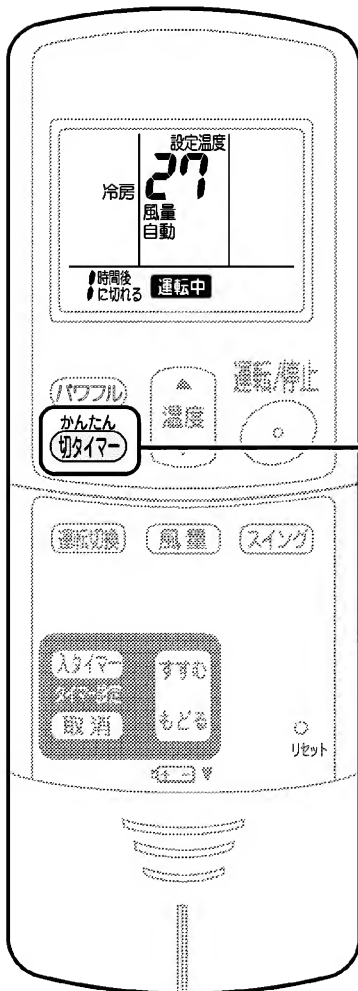
おやすみ前やおめざめの時間に合わせてご使用になると便利です。  
かんたん切タイマーと入タイマーを組み合わせることもできます。

## かんたん切タイマー運転

1 **かんたん切タイマー**を押す。



- 押すごとに1時間きざみで表示、9時間まで設定できます。



### タイマー運転について

- かんたん切タイマー運転を開始すると、1時間後に設定温度を自動的に変え（冷房時:0.5℃上がる、暖房時:2℃下がる）、冷やし過ぎ、暖め過ぎを防いで快適な睡眠を守ります。
- かんたん切タイマーを予約した場合、設定した時間よりもタイマーの切れる時間がずれることがあります。
- 入タイマーを予約すると、その時間にリモコンの設定温度となるように、最長1時間前から運転を始めます。
- 一度入タイマーを予約すると、予約された時間は次回も記憶されています。ただし、かんたん切タイマーは記憶されません。（リモコンの電池を交換すると、記憶内容は消えます。）

### ■予約を取り消したいとき

**取消**を押す。

- タイマーランプが消灯します。



## 組合せ予約について

- かんたん切タイマーと入タイマーを組合せて予約する場合、下記例を参考に行ってください。

(例)

運転中のエアコンを引き続き1時間運転。それから7時間停止させた後、運転を再開させたいとき。



## お願い

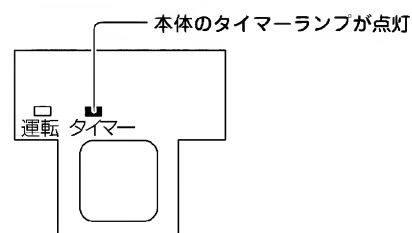
- 次のような場合には、タイマーの設定をやり直してください。

- ブレーカーが作動したとき
- 停電したとき
- リモコンの電池を交換したとき

## 入タイマー運転

1

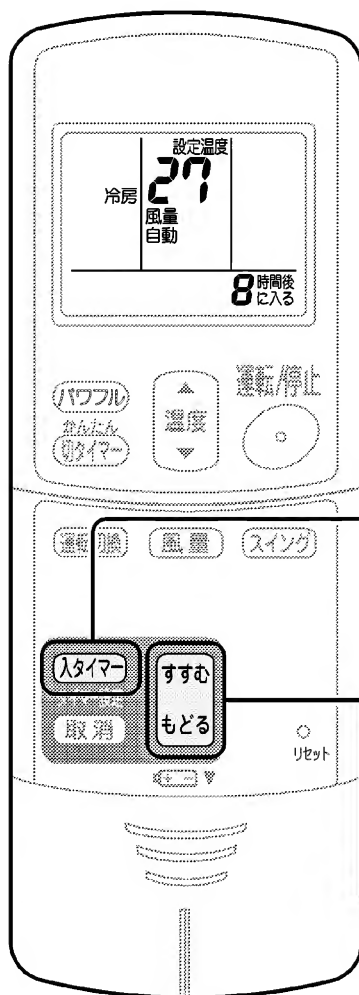
**入タイマー** を押す。



2

**すすむもどる** を押す。

- 押すごとに1時間きざみで表示、12時間まで設定できます。
- 入タイマー**を押すごとに設定することもできます。



## ■予約を取り消したいとき

**取消** を押す。

- タイマーランプが消灯します。

運転のしかた

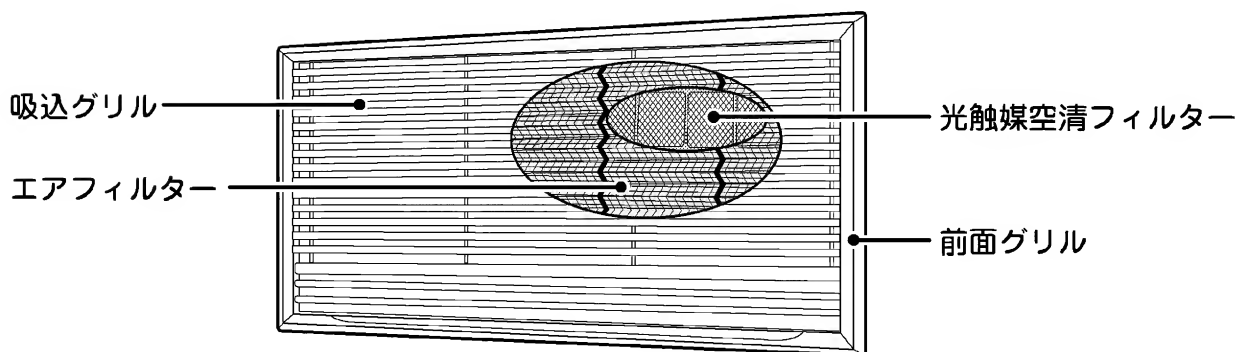
# お手入れのしかた

## お手入れ早見表

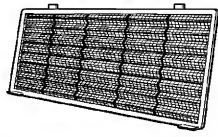
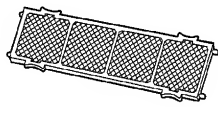
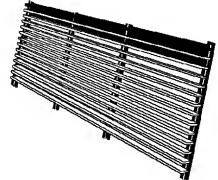
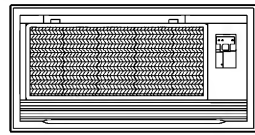


注意

- お手入れの前には必ず運転を停止し、ブレーカーを切ってください。
- 吸込グリル脱着の際は、丈夫で安定している台を使用し、足元に十分注意してください。
- 吸込グリルが落ちないように両手でしっかりと持ちながら操作してください。
- 吸込グリルは確実にに取り付いていることを確認してください。



## ■各部品のお手入れ

お手入れのめやす／お手入れのしかた		ご注意
<b>エアフィルター</b> 	<b>約1ヵ月に一度掃除</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水洗いするか、掃除機でホコリを吸い取る。</li> <li>●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かす。</li> </ul>	
<b>光触媒空清フィルター</b> 	<b>約6ヵ月に一度掃除</b> (3年程度をめやすに交換) <ul style="list-style-type: none"> <li>●掃除機でホコリを吸い取る。</li> <li>●汚れのひどいときは、ぬるま湯または水で10～15分つけ置き洗います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●フィルターはこすり洗いしないでください。</li> <li>●つけ置きする場合は、フィルターを枠から出さないでください。</li> <li>●つけ置き後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かしてください。</li> <li>●水切りの際はフィルターをしばらないでください。</li> </ul>
<b>吸込グリル</b> 	<b>都度</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●やわらかい布でからぶきする。</li> </ul>	
<b>前面グリル</b> 		
<b>リモコン</b> 